

総合的な学習の時間で活用する ～希望と勇気、克己と強い意志～

山陽小野田市立厚狭中学校 岡村 正志

1 本場面におけるポイント

- 道徳の授業を総合的な学習の時間や学級活動と横断的に関連させ、キャリア教育の充実を図ることで、将来の生き方や人としての在り方を感じさせる。

2 授業の実際

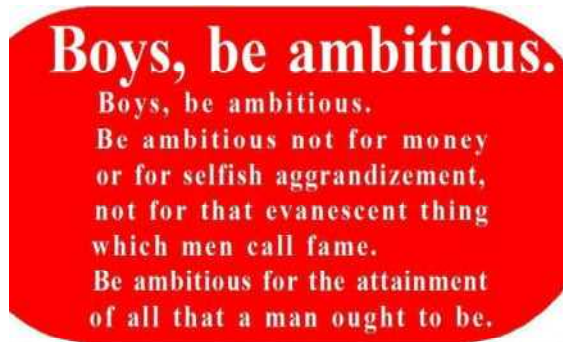
1 単元名 目標を目指し、やり抜く強い意志を

2 ねらい

「AFPY (アフピー)」の実践、「アンジェラ・アキ：心の遺伝子」の鑑賞、「私の未来履歴書／ライフサイクルプラン」の作成などの取組を振り返りながら、将来の自分のあるべき姿をイメージし、目標に向かって人生を切り拓いていこうとする、よりよい心情を育てる。

3 展開

(1) 導入 資料「Boys, be ambitious.」とは？



～ 教師の投げかけや発問 ～

夢を夢のままにせず、その実現に向かって努力することは、一生懸命に精一杯に生きていこうとすること、そのものです。そして、夢を実現しようとする時に、とても大切なことがあります。それは、最初の第一歩を踏み出す小さな勇気です。これまでの取組を振り返りながら、人が生きることについて考えてみましょう。



「私たちの道徳」 P16

《目標を目指しやり抜く強い意志を》

将来に向けて大きな夢をもつことはあなたの可能性を大きく引き出してくれるだろう。

そうした大きな夢の実現のために少し努力すれば手の届きそうな小さな目標の実現から始めてみよう。

(ウィリアム・スミス・クラーク)

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

「私たちの道徳」の冒頭には、「自分を見つめ伸ばして」という題材が設定されている。それは、A主として自分自身に関する内容であり、「自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること」とある。

総合的な学習の時間や学級活動でのキャリア教育の実践をベースに、本誌の単元を深めることで、自己の生き方を見つめ、自分の特徴を多面的・多角的に捉えさせたい。

(2) 展開 資料「Boys, be ambitious.」の続きの文章を考える。

私の人生設計です **ライフ・サイクル・プラン** 2015年12月4日

	2015年度(13才)	2017年度(15才)	2020年度(18才)	10年後の自分(23才)
勉強	4月(目標)イテモ批判戦! 3月各教科の中間期末テストで90点以上を目指す!	4月(目標)どんな計画も実行! 3月で90点以上を目指す!	4月(目標)毎日ゴソゴソ達成目標	自分の役に立つ仕事を婚ばせる仕事につく。ウエディングプランナー、信頼される学校の先生、外国で働く医者、頼られるお母さん、助産師、人に感謝を与えられる仕事、看護師、人を支える仕事、カウンセラー
生活	家庭学習宿題をしてから、自分のことを勉強。必ず家で宿題をする。平日ごとに自学する教科を決める。	下関西高校に入学する。	自分で計画を立ててゴソゴソ毎日、少しずつやっていく。試験期間だけですることがないように!	友人の役に立つ仕事を婚ばせる仕事につく。ウエディングプランナー、信頼される学校の先生、外国で働く医者、頼られるお母さん、助産師、人に感謝を与えられる仕事、看護師、人を支える仕事、カウンセラー
自己啓発	群活動、アパノットの進指を覚える。グレートスケールを覚える。習い事、ピアノの練習を毎日15分はする。(ハンソとツェルニ一二三)	評活動、県大内部門金賞をとる。生徒会執行部に入る。部活と向き合わせる。やるときは、自分を犠牲にしている。	生徒会執行部に入る。音道を再始する。	友人の役に立つ仕事を婚ばせる仕事につく。ウエディングプランナー、信頼される学校の先生、外国で働く医者、頼られるお母さん、助産師、人に感謝を与えられる仕事、看護師、人を支える仕事、カウンセラー
健康	ピアノ、ハンソとツェルニ一以外の曲は好き好き好きだけ。	ピアノ、楽符と見て、すぐに弾けるようにする。	趣味としてピアノを続ける。ピアノの曲を弾けるようにする。	好きなことを充実させる。適度な運動をする。


～ 教師の投げかけや発問 ～

一般的にはあまり知られていませんが、実は、北海道大学：クラーク先生の言葉「Boys, be ambitious.」には続きの文章があります。それは、「少年よ大志を抱け、でも人間はいつか皆、〇〇〇・・・」というものです。
 「お金のためではなく、私欲のためでもなく、人はいかに生きていくべきかを考え、夢をもって大志を抱きなさい。」と、学生に問い続けたクラーク先生の続きの文章を考えてみましょう。

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

「Boys, be ambitious.」の続きの文章は、人間の命や尊厳を考えさせる内容であり、道徳学習指導要領の内容「D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事」と関連がある。限りある命を見つめ、一日一日を大切に生きていく心情を育成したい。

(3) 終末 ワークシート及び私たちの道徳P17に取り組む。



少年よ 大志をいだけ
クラーク

● 中学5のうちに達成したい目標を書いてみよう。

● 将来の目標を書いてみよう。なぜそれを目標にするのかも考えてみよう。

《教師の言葉》

人間はいつかみな、^{失敗する}《失敗者》

多くの人が、人間はいつか皆「死ぬ」と書いてきましたが、「願いが叶う」とか「失敗する」などの表現も多くありました。クラーク先生は、次のように述べています。

”人間はいつかみな必ず死ぬ”

命の期限があるからこそその人生。その命の期限を、間近に感じることが出来る老人のように、一日一日を大切に、確実に刻むのだ。

人間はいつかみな、《願いが叶う》

だからお金や私欲のために大志を抱いても願いが叶わなほ。しかし道徳の道りや結果が大きな目標や願いを叶え、幸せや達成感を感じたい。

3 実践を振り返って

本校では道徳教育推進教師を中心に道徳教育の充実を図るため、全校体制で授業実践や研究・研修に努めている。特に、内容項目の四つの視点「自分自身に関する事」「人との関わりに関する事」「集団や社会との関わりに関する事」「生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事」を大切に、各学年の発達段階に応じた授業実践や活動に取り組んでいる。具体的には、22の全内容項目の一覧表を学年掲示し、年間を通して確実に実施できるように学級・学年で取り組んだ項目にスタンプを押し確認している。

中学校学習指導要領解説「特別の教科 道徳編」では、重点的な指導の工夫として、3年間を見通した重点的な指導があげられている。本事例では、来年度の「職場体験学習」や「立志式」などに関連した取組であったと考えている。今後も「私たちの道徳」を活用し、学校の教育活動全体で道徳教育の推進を図り、生徒一人ひとりの豊かな情操を育みたい。